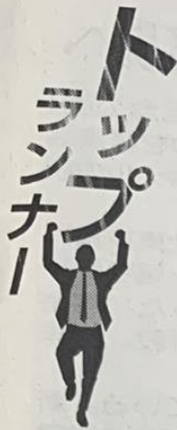


ウェルフェア三重社長

西村 昭徳氏

(にしむら・あきのり)



三重県内で介護付有料老人ホームやグループホームなどを運営するウェルフェアグループ。グループの中核企業、ウェルフェア三重(本社伊勢市)はこのほど、働き方改革に積極的に取り組む企業を三重労働局が認定する「ベストプラクティス企業」に選ばれた。県内企業では5社目で、介護業としては初めて。西村昭徳社長に、具体的な取り組みや今後の展開について聞いた。

(聞き手・川原和起)

— 介護業としては初めての認定だった。
「コロナ禍での介護施設の運営で、不安もあったが、日とした。また、夜間勤務環境を良くしようときさままな取り組みを実践してきた『夜勤専従職員』

ワークライフバランス充実

ベストプラクティス企業認定 週休3日制導入

た。表彰していただきたい」とは大変喜ばしく、職員一人一人の理解のおかげだ

「2017年ごろから、週休3日制を導入した。1

具体的なおかげだ。具体的な取り組みについて。
「2017年ごろから、週休3日制を導入した。1
従業員は業界全体では離職率が高い。従業員のモ



「今後、健康経営にも力を入れていく」と話す西村社長

「介護業で離職する人の多くが、腰痛かメンタルの不調が原因だ。今年新たに、メンタルヘルス相談窓口を開設した。キャリアコンサルタントの国家資格を取得した3人の社員が仕事の悩みを聞いてくれる。また専門

「介護業は業界全体では離職率が高い。従業員のモ

「介護業で離職する人の多くが、腰痛かメンタルの不調が原因だ。今年新たに、メンタルヘルス相談窓口を開設した。キャリアコンサルタントの国家資格を取得した3人の社員が仕事の悩みを聞いてくれる。また専門

「当社では介護業務を、食事や入浴サポートなどの『身体介護』と、清掃や洗濯などの『生活の支援』に分けている。すべてを1人の従業員で行うと、負担も大きい。それぞれの業務を専門的に行うことで、効率化を図っている。また専門

「今年からは健康経営にも取り組んでいる。一番大切なのは、従業員一人一人の健康だ。従業員の健康意識向上へも力を入れてい

ベ

「当社では介護業務を、食事や入浴サポートなどの『身体介護』と、清掃や洗濯などの『生活の支援』に分けている。すべてを1人の従業員で行うと、負担も大きい。それぞれの業務を専門的に行うことで、効率化を図っている。また専門

「今年からは健康経営にも取り組んでいる。一番大切なのは、従業員一人一人の健康だ。従業員の健康意識向上へも力を入れてい

「今年からは健康経営にも取り組んでいる。一番大切なのは、従業員一人一人の健康だ。従業員の健康意識向上へも力を入れてい

「今年からは健康経営にも取り組んでいる。一番大切なのは、従業員一人一人の健康だ。従業員の健康意識向上へも力を入れてい

「介護施設では、利用者一人一人の体調や食事の量などを記録する必要があるので。今年の春ごろに、この介護記録をペーパーレス化した。情報管理ツール『ケアコロボ』を導入し、身体情報の蓄積やケアプランの作成をスマホやタブレット上で管理している。介護記録は、家族もスマホなどで見ることができるよう、特にコロナ禍で面会制限している現在は大変喜ばれている」

「今年からは健康経営にも取り組んでいる。一番大切なのは、従業員一人一人の健康だ。従業員の健康意識向上へも力を入れてい

「今年からは健康経営にも取り組んでいる。一番大切なのは、従業員一人一人の健康だ。従業員の健康意識向上へも力を入れてい

「今年からは健康経営にも取り組んでいる。一番大切なのは、従業員一人一人の健康だ。従業員の健康意識向上へも力を入れてい

「今年からは健康経営にも取り組んでいる。一番大切なのは、従業員一人一人の健康だ。従業員の健康意識向上へも力を入れてい

「今年からは健康経営にも取り組んでいる。一番大切なのは、従業員一人一人の健康だ。従業員の健康意識向上へも力を入れてい

「今年からは健康経営にも取り組んでいる。一番大切なのは、従業員一人一人の健康だ。従業員の健康意識向上へも力を入れてい